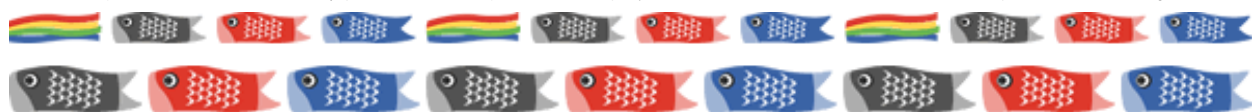




～ 職人の技を体感！～ 兵庫県立ものづくり大学校での体験活動を振り返って

今回の校外学習では、学年委員の活躍が特に光りました。前日の体育館で行った事前指導から当日の挨拶や施設の方へのお礼の言葉など、広い視野で全体を見るリーダーとしての自覚と自信がついてきたように感じます。リーダーが活躍するためには、リーダーを支える仲間の存在が不可欠です。ものづくり体験館での隊形移動は、班長を中心に大変スムーズに行うことができました。今回の校外学習を通して、リーダーと彼らを支える仲間たちとの信頼関係がうまく築けたように感じます。今後もこの関係を大切に より一層のレベルアップを図っていきましょう。

右に、今回の校外学習を終えて、学年委員のみなさんの振り返りを紹介します。



～ まだまだ続く！トライやる企画 ～

ものづくり大学校での体験は、今ある仕事の体験でした。しかもその道のプロ、超一流の職人さんの技を体験する企画でした。

さて、今回の体験プログラムは、今までの常識だけでは先が読めない将来、複数の正解を自ら導き出す必要がある近い将来に向けて、AIには真似のできないクリエイティブな発想で新しい未来を自ら創り出す体験プログラムを企画しています。6月10日(木)高校生とのコラボ企画です。間違いを恐れず、自分からどんどん発信する有意義な企画になることを期待しています。

保護者の皆様へ

先日のものづくり体験では、朝早くからお弁当作りなどご協力いただき、ありがとうございました。生徒たちは普段とは違う環境でも、生き生きと活動し、学校とはまたひと味違う表情を見せてくれました。また、ものづくり体験館の方々やバス運転手さんなど関わって下さる方々に、ごく自然に、さわやかな挨拶やお礼の言葉を発することができ、この1年間で成長を遂げた生徒たちの姿を頼もしく、少し誇らしい気分で見守ることができた1日になりました。

まだまだ制約が多い状況ではありますが、感染予防に全力を尽くしつつ「トライやる関連行事」を企画して参ります。今後ともよろしくお願いいたします。

ものづくり体験館に行って一番良かったと思うことは、すぐにバス隊形になったりしたところだと思います。練習では早く移動隊形に動くことができていなかったのに、向こうに行くとスムーズにできたところです。ですが、切り替えができていところもあれば、できていないところもあったので、ここを学校生活から意識して切り替えができるようになればいいと思います。

1組 安井 慶真

ものづくり体験の日、朝集合した時に遅刻とかが多かったり、朝からあまりいい雰囲気ではなかったけれど、ものづくり大学校に着いてものづくりを始めると、みんな自然と笑顔が出ていて、ある意味メリハリがよくついていたと思う。これを普段から生かせるようにしようと思いました。

1組 森山 真紗那

今までは、学年委員だけが中心となってみんなを列に並ばせていたけど、今回のものづくり体験では、班長が中心となり、みんなが自分から動いていたと思い、学年で「成長している」と実感しました。でも、まだ時間に遅れたり、バスでも少ししゃべって注意されていたこともあったので、この経験を生かして、もっと良い学年にするために頑張りたいと思いました。

2組 保 和希

今回の校外学習では、今までで一番、学年が団結することができていたと思います。特に、隊形移動の時、全員が早くしようと思って走って並び、素早く行動することができていました。バスの中で少し喋ってしまったたり、うまくいかなかったこともありますが、そこは改善して、次回は、めちゃくちゃ褒められるようにしていきたいです。

2組 大久保 結菜

校外学習で良かったことは、みんなが当たり前をやろうとしているなと思ったことです。バス内で静かにしようとしていたり、挨拶やお礼を全員がしようとしていて、それも実行できていたことが良かったことだと思います。改善すべきところは時間です。実際、自分も朝少し遅れて来てしまったし、朝から遅刻してしまうと怒られたり自分の中でも気持ちが落ちて良いスタートを切れないと思います。事後学習の「エビのニューバーグ風」の振り返りで「時間が大切だと改めて思った」と言っていたのを聞いて、改めて時間の大切さがわかりました。

3組 古澤 琉空

前日の隊形練習の時は、並ぶのが遅めだったけれど、前日の終礼で声かけをすると、当日は早くなっていたので良かったです。でも、少し時間にルーズな部分があったので、次回はそこをみんなで直していきたいと思いました。

3組 山城 凜

< これからの トライやる企画 >

高校生とのコラボ企画「考えるって何だろう」(6月10日予定)

お魚講習会 (魚を3枚におろし、ソテーします)(6月下旬予定)